

2020年度シラバス

生命産業創造学科 4年次科目

2020年4月28日 現在

卒業研究（伊藤満敏研究室） Laboratory Work for Graduation (Mitsutoshi Ito Lab)	担当教員	伊藤 満敏		
	卒業要件	専門必修科目		
	年次・学期	4年次 通年	単位数	10単位

【授業概要】

卒業論文作成のための研究テーマの立案、研究計画の立案、先行研究調査、調査・実践の実施、データの解析、論文の執筆を具体的に指導する。2年次開講科目「食品管理論」、「歴史風土から見た食環境」、「中食・外食論」、「2次産業論」、「食文化論」、「食品開発論」、「6次産業化論」、「食品科学概論」、3年次開講科目「食品製造論」、「健康食品論」などの専門知識が必要とされる。

【実務経験】

担当教員は、食品ビジネスの現場に35年勤務した経験を持つ。食品の製造・販売に係る生産管理部門や品質管理部門や営業部門の実質的業務の経験を持つ。食品ビジネス分野の卒業研究論文の作成にあたり、実学的・実践的な指導をする。

【キーワード】

食生活、調理と安全、健康と栄養、食文化と環境、食品の表示、食品の生産と流通、食品の加工技術、食の情報

【一般目標】

食を取り巻く多様な環境の中から、先行研究を調査し自らの研究課題を設定する。研究に必要な調査・アンケートを実施しデータを収集し解析を行う。得られた結果を考察し論文としてまとめる。

【到達目標】

知識・理解	1、研究のための先行研究調査を行い、研究の意義を理解することができる。 2、先行研究の学術論文を読解することができる。
思考・判断	1、自分が興味を持ったまたは問題意識を持った事柄について、研究課題として設定できる。 2、課題の解決のための調査やアンケートを実施しその結果を分析し、考察できる。 3、研究の内容を文章化できる。
関心・意欲・態度	1、研究課題について教員や研究室メンバーと積極的な討論ができる。 2、研究課題についての自分お考えを言葉で表現できる。文章化できる。
技能・表現	1、正しい日本語を用いて、分かりやすい文章で論文を仕上げることができる。 2、研究の成果を分かりやすく口頭発表できる。
その他	

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当者
1	卒業研究のオリエンテーション	シラバスを基に卒業研究の概要を理解する。	講義	予習：シラバスの熟読・研究課題のテーマを考える（960分） 復習：講義内容（960分）	伊藤
2	研究課題のテーマの設定	興味関心に基づいた研究テーマを設定する	演習	予習：研究テーマの設定（960分） 復習：講義と演習内容（960分）	伊藤
3	先行研究の調査	研究テーマに基づいた先行研究を調査する	演習	予習：先行研究調査（960分） 復習：先行研究調査（960分）	伊藤
4	研究計画の立案	研究計画を立案する	講義・演習	予習：計画の立案（960分） 復習：講義演習の内容（960分）	伊藤
5	調査・アンケートの実実施計画の立案	具体的な調査やアンケートの実施の計画を立案する	講義・演習	予習：調査・アンケートの立案（960分） 復習：講義・演習の内容（960分）	伊藤
6	調査・アンケートの実施 I	調査やアンケートを行う	演習・実習	予習：実践活動（960分） 復習：実践活動（960分）	伊藤
7	調査・アンケート実施 II	調査やアンケートを行う	演習・実習	予習：実践活動（960分） 復習：実践活動（960分）	伊藤
8	調査・アンケートの実施 III	調査やアンケートを行う	演習・実習	予習：実践活動（960分） 復習：実践活動（960分）	伊藤
9	調査結果・データの解析 I	調査結果・データの解析を行う	演習	予習：データ解析（960分） 復習：調査解析（960分）	伊藤
10	調査結果・データ解析 II	調査結果・データの解析を行う	講義・演習	予習：データ解析（960分） 復習：調査解析（960分）	伊藤
11	卒業論文執筆 I	卒業論文を執筆する	演習	予習：卒論作成（960分） 復習：卒論作成（960分）	伊藤
12	卒業論文執筆 II	卒業論文を執筆する	演習	予習：卒論作成（960分） 復習：卒論作成（960分）	伊藤
13	卒論発表の予行練習	口頭発表会の予行練習	演習・発表	予習：プレゼン資料の作成（960分） 復習：予行練習の復習（960分）	伊藤
14	卒業論文の発表	卒業論文の発表を行う	発表	予習：卒業論文の最終仕上げ（960分） 復習：卒業論文の振り返り（960分）	伊藤

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・编者	出版社
	配布プリント		

【成績評価方法・基準】

到達目標	評価方法	研究プロセス	卒業論文	口頭発表	その他	合計
	知識・理解	○	◎			
	思考・判断	○				
	関心・意欲・態度	◎		○		
	技能・表現	○	◎	◎		
	その他					
	評価割合	50%	35%	15%	0%	100%
	備考	50	35	15		

【課題に対するフィードバック方法】

定期開催のゼミでいつでも対応する。論文の添削など随時対応する。

【連絡先】

	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
伊藤 満敏	月曜日～金曜日10：00～17：00	新津駅東キャンパスNE206	m-ito@nupals.ac.jp

卒業研究（伊藤美千代研究室） Laboratory Work for Graduation (Michiyo Ito Lab)	担当教員	伊藤 美千代		
	卒業要件	専門必修科目		
	年次・学期	4年次 通年	単位数	10単位

【授業概要】

卒業論文の作成に向けて、研究テーマの設定、研究計画の立案、先行研究調査、インタビュー調査、アンケート調査、データの解析、卒業論文の執筆等の指導を行う。卒業研究を進めるにあたり、1年次開講科目「学習論」、3年次開講科目「論理的思考論」の知識が必要となる。

【キーワード】

先行研究調査、インタビュー調査、アンケート調査、質的調査、量的調査

【一般目標】

卒業研究のテーマを設定し、先行研究の調査に基づき研究計画を立案することができる。さらに、インタビュー調査やアンケート調査によりデータを収集し、統計分析を行うことにより結果の解析を行い、卒業論文としてまとめることができる。

【到達目標】

知識・理解	1. 研究を進めるための計画立案の手順を説明できる。
思考・判断	1. 先行研究調査を行い、研究テーマの妥当性について判断することができる。
関心・意欲・態度	1. 研究計画に沿って、意欲的にデータを収集し、卒業論文を仕上げることができる。
技能・表現	1. 研究の成果を論理的に卒業論文にまとめ、分かりやすく発表ができる。
その他	

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当者
1	卒業研究についてのオリエンテーション、卒業研究についての概要把握	シラバスを基に科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。卒業研究への取り組みの概要を理解する。	講義	予習：シラバスの熟読（180分） 復習：卒業研究の概要についての振り返り（2000分）	伊藤
2	卒業研究のテーマの設定	自分の問題意識を整理し、卒業研究のテーマを設定する。	演習・討論	予習：研究テーマの設定（180分） 復習：研究テーマについての振り返り（2000分）	伊藤
3	先行研究調査	卒業研究のテーマに基づき、先行研究調査を行う。	演習・討論	予習：先行研究調査（180分） 復習：先行研究調査についての振り返り（2000分）	伊藤
4	研究計画の立案	先行研究調査結果に基づき、研究計画を立てる。	演習・討論	予習：研究計画の立案（180分） 復習：研究計画の立案についての振り返り（2000分）	伊藤
5	研究手法の確定	研究テーマの解明に向けた研究手法を確定する。	演習・討論	予習：研究手法の検討（180分） 復習：研究手法についての振り返り（2000分）	伊藤
6	研究調査の実施（1）	研究調査を実施する。	演習・フィールドワーク	予習：研究調査の実施（180分） 復習：実施した研究調査の振り返りを行う。（2000分）	伊藤
7	研究調査の実施（2）	研究調査を実施する。	演習・フィールドワーク	予習：研究調査の実施（180分） 復習：実施した研究調査について振り返りを行う。（2000分）	伊藤
8	研究調査の実施（3）	研究調査を実施する。	演習・フィールドワーク	予習：研究調査の実施（180分） 復習：実施した研究調査の振り返りを行う。（2000分）	伊藤
9	データの分析（1）	研究調査で収集したデータの分析を行う。	演習・討論	予習：収集したデータの整理を行う。（180分） 復習：データの分析を行う。（2000分）	伊藤
10	データの分析（2）	研究調査で収集したデータの分析を行う。	演習・討論	予習：収集したデータの整理を行う。（180分） 復習：データの分析を行う。（2000分）	伊藤
11	卒業論文執筆（1）	卒業論文を執筆する。	演習・討論	予習：卒業論文の作成（180分） 復習：卒業論文の作成（2000分）	伊藤
12	卒業論文執筆（2）	卒業論文を執筆する。	演習・討論	予習：卒業論文の作成（180分） 復習：卒業論文の作成（2000分）	伊藤
13	卒業論文発表の予行練習	卒業論文発表会に向けて、予行練習を行う。	発表・討論	予習：発表準備を行う。（180分） 復習：予行練習の振り返りを行う。（2000分）	伊藤
14	卒業論文の発表	卒業論文の内容について発表を行う。	発表・討論	予習：発表準備を行う。（180分） 復習：発表時の質疑応答について振り返りを行う。（2000分）	伊藤

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・编者	出版社
その他	配付資料		

【成績評価方法・基準】

到達目標	評価方法	研究プロセス	卒業論文	口頭発表	その他	合計
	知識・理解	○	○	○		
思考・判断	◎	◎	◎	○		
関心・意欲・態度	◎	◎	◎	○		
技能・表現		◎	◎	◎		
その他						
評価割合		50%	35%	15%	0%	100%
備考						

【課題に対するフィードバック方法】

卒業研究の進捗状況について定期的にゼミで発表を行ってもらい、それに対して助言を行う。

【連絡先】

	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
伊藤 美千代	月曜日～金曜日の午後	新津駅東キャンパス（NE214）	nagano-ito@nupals.ac.jp

卒業研究（浦上研究室） Laboratory Work for Graduation (Urakami Lab)	担当教員	浦上 弘		
	卒業要件	専門必修科目		
	年次・学期	4年次 通年	単位数	10単位

【授業概要】

研究テーマに沿った卒業研究を行い、卒業論文を作成するための、研究計画の立案、先行研究の調査、自身が行う調査の準備と実施、結果のプレゼンテーション、論文執筆を具体的かつ体系的に指導する。この授業の基礎となる科目は以下のとおりである。「生命産業に関わる法学」、「食品管理論」、「レギュラトリーサイエンス」、「食品微生物学」、「食品安全学」など。

【実務経験】

2007年から一般社団法人日本HACCPトレーニングセンター理事長として、HACCPの食品企業への普及のために講習会の教材の開発、講師、企業へのコンサルティング、HACCP認定取得支援などを行っている。

【キーワード】

食品製造、マネージメント、食品安全、HACCP、一般衛生管理、文献検索、論文執筆

【一般目標】

研究テーマに関連した先行研究の調査をし、研究方法を決め、実験を行う手順を修得する。得られた成果を考察し、まとめる過程を経て、創造的な研究を行う能力を身につける。また、研究会などで発表できる表現法と論文を執筆する文章力を修得する。

【到達目標】

知識・理解	研究テーマの意義を理解し、目標に向かって研究を行う段取りを理解できる。個々の実験を適切に設計し、準備し、実施できる。
思考・判断	得られた実験の結果を考察し、研究全体での位置づけが理解できる。
関心・意欲・態度	意欲的に研究に臨み、研究倫理を身につける。
技能・表現	食品微生物の実験手技、プレゼンテーションの説明資料の作製法を身につけ、と論文を執筆する文章力を修得する。
その他	

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当者
1	授業オリエンテーション 研究の理解	卒研の学術的、社会的意義を理解する。	講義・自習・ディスカッション	予習：関連文献の輪読と理解（90分） 復習：～復習内容を入力してください～（96分）	浦上
2	前年度の卒業研究の輪読とディスカッション1	卒研の概要を理解し、自らの卒研テーマの設定に活かす。	演習・発表・自習・ディスカッション	予習：前年度の卒論の輪読と理解（90分） 復習：～復習内容を入力してください～（96分）	浦上
3	前年度の卒業研究の輪読とディスカッション2	卒研の概要を理解し、自らの卒研テーマの設定に活かす。	演習・発表・自習・ディスカッション	予習：前年度の卒論の輪読と理解（90分） 復習：～復習内容を入力してください～（96分）	浦上
4	前年度の卒業研究の輪読とディスカッション3	卒研の概要を理解し、自らの卒研テーマの設定に活かす。	演習・発表・自習・ディスカッション	予習：前年度の卒論の輪読と理解（90分） 復習：～復習内容を入力してください～（96分）	浦上
5	論文の輪読と卒研テーマの設定1	研究テーマの達成に必要な文献を検索する。	演習・発表・自習・ディスカッション	予習：卒研テーマごとの文献を読んで理解する。（90分） 復習：～復習内容を入力してください～（96分）	浦上
6	論文の輪読と卒研テーマの設定2	研究テーマの達成に必要な文献を検索する。	演習・発表・自習・ディスカッション	予習：卒研テーマごとの文献を読んで理解する。（90分） 復習：～復習内容を入力してください～（96分）	浦上
7	論文の輪読と卒研テーマの設定3	研究テーマの達成に必要な文献を検索する。	演習・発表・自習・ディスカッション	予習：卒研テーマごとの文献を読んで理解する。（90分） 復習：～復習内容を入力してください～（96分）	浦上
8	卒研の進捗状況の発表とディスカッション1	それぞれのテーマに則した調査を行い、結果を分析、考察する。	演習・発表・自習・ディスカッション	予習：先行研究の文献を読み、調査の準備をする。（90分） 復習：～復習内容を入力してください～（96分）	浦上
9	卒研の進捗状況の発表とディスカッション2	それぞれのテーマに則した調査を行い、結果を分析、考察する。	演習・発表・自習・ディスカッション	予習：先行研究の文献を読み、調査の準備をする。（90分） 復習：～復習内容を入力してください～（96分）	浦上
10	卒研の進捗状況の発表とディスカッション3	それぞれのテーマに則した調査を行い、結果を分析、考察する。	演習・発表・自習・ディスカッション	予習：先行研究の文献を読み、調査の準備をする。（90分） 復習：～復習内容を入力してください～（96分）	浦上
11	卒業論文の作成1	卒業論文を執筆する。	実習・自習・ディスカッション	予習：得られた研究結果を俯瞰し、論理構成を考えて論文とする。（90分） 復習：～復習内容を入力してください～（96分）	浦上
12	卒業論文の作成2	卒業論文を執筆する。	実習・自習・ディスカッション	予習：得られた研究結果を俯瞰し、論理構成を考えて論文とする。（90分） 復習：～復習内容を入力してください～（96分）	浦上
13	卒業論文の作成3	卒業論文を執筆する。	実習・自習・ディスカッション	予習：得られた研究結果を俯瞰し、論理構成を考えて論文とする。（90分） 復習：授業内容（96分）	浦上
14	卒業論文の作成4	卒業論文を執筆する。	実習・自習・ディスカッション	予習：得られた研究結果を俯瞰し、論理構成を考えて論文とする。（90分） 復習：授業内容（96分）	浦上

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・编者	出版社
その他	随時印刷物を配布		

【成績評価方法・基準】

到達目標	評価方法	研究プロセス	卒業論文	口頭発表	その他	合計
	知識・理解	◎	◎	◎		
思考・判断	◎	◎	◎			
関心・意欲・態度	◎	◎	◎			
技能・表現	◎	◎	◎			
その他	◎	◎	◎			
評価割合		50%	35%	15%	0%	100%
備考						

【課題に対するフィードバック方法】

調査結果について1：1もしくはセミナーで議論する。記録、卒業論文などは添削し、書き直させる。

【連絡先】

	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
浦上 弘	授業日の午後	E303	urakami@nupals.ac.jp

卒業研究（小瀬研究室） Laboratory Work for Graduation (Kose Lab)	担当教員	小瀬 知洋		
	卒業要件	専門必修科目		
	年次・学期	4年次 通年	単位数	10単位

【授業概要】

卒業論文作成のための研究テーマの設定、研究計画の立案、データ分析の方法、研究結果の解析、論文執筆を具体的かつ体系的に指導する。また、「卒業研究（小瀬研究室）」には、「環境汚染論」、「環境科学概論」、「リサイクル論」、「環境技術論」、「廃棄物管理工学」の履修に基づく専門知識の習得が必要とされる。

【キーワード】

持続可能な発展、上下水道、循環型社会、環境の改善、環境動態、環境リスク評価、化学物質、重金属、論文検索、英語論文読解、定性分析、定量分析、研究計画、論文作成、論文発表

【一般目標】

卒業研究に必要な論文を読解し、情報を収集し、解析する英文読解、文献検索、統計分析を習得する。卒業研究テーマを設定し、研究テーマに関連する研究の調査をし、研究目的や分析方法の決定、調査の実行、得られた成果の解析と考察、論文執筆、口頭発表等を行い、自らの理解を深めると同時に、優れた表現法を修得し、コミュニケーション能力を培い、実験・研究を行う能力を養成する。

【到達目標】

知識・理解	1. 研究テーマを論理的・多面的に理解することができる。2. 環境ビジネスに関する基礎から応用までの知識を習得している。3. 研究を実施するための情報を分析し、その情報が持つ意味を読みとることができる。特に、卒業研究の遂行に必要な文献や資料を読解し、要約できる。
思考・判断	1. 研究に関する知識や情報を統合し、研究を実施するためのツールとして活用ができる。2. 研究テーマの問題点を的確に読み取り、解決策を提案できる。3. 得られた研究成果を考察し、今後の課題を示し、研究の発展性を展望できる。
関心・意欲・態度	1. 研究実施にあたり、自身の研究が人間・社会・地球環境と経済に与える影響を考え、討論できる。2. 研究計画に沿って、適切な情報収集と分析を積極的に遂行できる。
技能・表現	1. 卒業研究の遂行に必要な情報収集と分析ができる。2. 研究テーマを適切に表現し、与えられた時間内で明瞭にわかりやすく発表できる。3. 質問の内容を把握し、質問者に的確に回答できる。4. 論文を合理的な構成で、簡潔・的確にまとめることができる。
その他	

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当者
1	授業オリエンテーション 論文・文献資料の検索と読解	シラバスを基に卒業研究の概要や、一般目標、到達目標を理解する。 卒業研究の遂行に必要な論文を理解し、資料の調査と情報の整理を できる。	講義・演習	予習：シラバスの読解。課題文献の収集と精読。（960分） 復習：収集資料の整理と精読（960分）	小瀬
2	情報の定性的な分析法	卒業研究の遂行に必要な定性分析の原理を理解し、実施できる。	講義・SGD・発表	予習：定性分析について調べ、要約した資料を作成する（960分） 復習：実際に定性分析を行っている研究報告を精読し、理解を深める（960分）	小瀬
3	情報の定量的な分析法	卒業研究の遂行に必要な定量分析の原理を理解し、実施できる。	講義・SGD・発表	予習：定量分析について調べ、要約した資料を作成する（960分） 復習：実際に定量分析を行っている研究報告を精読し、理解を深める（960分）	小瀬
4	卒業研究テーマの設定1	自身が研究を行いたい分野の研究概要を学び、研究テーマを一次設定する。	講義・討論・課題	予習：卒業生等の研究内容や先行研究について調べる。（960分） 復習：授業内容、設定した研究テーマを理解し、確認する。（960分）	小瀬
5	関連研究の調査1	設定したテーマに関連する国内外の関連研究について文献検索の方法を学び、必要な文献・資料の内容を理解し、要約する。	演習・実習・発表	予習：文献検索と文献の要約例を調べる。（960分） 復習：授業内容を理解・確認し、研究に必要な文献検索と文献の要約をする。（960分）	小瀬
6	卒業研究テーマの設定2	設定した研究テーマに関して、収集した情報に基づき、修正を施し、テーマを確定する。	講義・討論・課題	予習：関連研究の調査内容に基づいて、自身の研究テーマの問題点を考える。（960分） 復習：関連研究の調査内容に基づいて、自身の研究テーマを修正する。（960分）	小瀬
7	関連研究の調査2	修正した研究テーマに関して、更なる情報収集を行い、文献・資料の内容を理解し、要約する。	演習・実習・発表	予習：文献検索を行う。（960分） 復習：研究に必要な文献の要約をする。（960分）	小瀬
8	研究計画書の作成	研究計画書の作成について学び、実際の研究計画を作成する。	発表・討論・課題	予習：研究計画書を試作する。（960分） 復習：授業内容を理解・確認し、研究計画書を修正する。（960分）	小瀬
9	データと情報の収集	アンケート調査、文献調査の手法を学び、学習内容に基づいてデータと情報を収集する。	演習・討論・課題	予習：アンケート調査、文献調査について学び、収集する情報を整理する。（960分） 復習：アンケート調査、文献調査を実施し、情報を収集する。（960分）	小瀬
10	データと情報の解析	収集した情報を、目的に応じて定性的および定量的に解析する。	演習・討論・課題	予習：収集した情報を定性的、定量的に解析する。（960分） 復習：解析結果を踏まえて、再解析を行う。（960分）	小瀬
11	卒業論文の執筆	卒業論文の構成と執筆について学ぶ。学習内容に基づいて、卒業論文を作成する。	演習・課題	予習：調査結果、分析結果、文献等、執筆に必要なものを準備し、卒業論文を試作する。（960分） 復習：卒業論文を修正する。（960分）	小瀬
12	卒業論文の輪読と修正	作成した卒業論文を相互に輪読し、他者の卒業論文にコメントし、自身の卒業論文をコメントに基づいて修正する。	演習・SGD・課題	予習：他者の卒業論文を精読し、自身の意見を整理する。（960分） 復習：自身の卒論に対する意見を整理し、修正を施す。（960分）	小瀬
13	卒業研究発表資料の作成	卒業論文の口頭発表のための資料作成法を学び、資料を作成する。	演習・発表	予習：スライドの構成を考え、スライドと発表原稿を試作する。（960分） 復習：スライド、発表原稿を修正する。（960分）	小瀬
14	卒業研究発表	卒業論文の口頭発表と質疑応答をする。応答内容について解説する。	講義・発表	予習：修正したスライド、発表原稿を用いて発表練習をする。（960分） 復習：口頭発表と質疑応答の内容を振り返り、理解するとともに、回答内容、卒論を修正する。（960分）	小瀬

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	卒業論文執筆要領（小瀬研究室）		
参考書	論文、資料などを適宜紹介する		

【成績評価方法・基準】

到達目標	評価方法	研究プロセス	卒業論文	口頭発表	その他	合計
	知識・理解	◎	◎	◎		
	思考・判断	◎	◎	◎		
	関心・意欲・態度	◎	◎	◎		
	技能・表現		◎	◎		
	その他					
	評価割合	50%	35%	15%	0%	100%
	備考	定期的にゼミを行い、スライド等を用いて研究成果の発表と質疑応答を行い、必要に応じて課題を課す。出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。	あらかじめ通知した研究室内の期日までに卒業論文の提出がない者には単位を与えない。	口頭発表を行わない者には単位を与えない。		

【課題に対するフィードバック方法】

提出後、口頭または文書で解説等を行う。

【連絡先】

	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
小瀬 知洋	通常 平日13:00 - 17:00 (随時メールでアポイントを受けます)	新津C E401b 新津駅東C NE211	tkose@nupals.ac.jp

【その他】

発信者のアドレスは大学より配布されたものに限る。携帯電話、フリーメールなど、他のアドレスから送付されたメールは受け付けない。メールのタイトルには発信者の「学籍番号」と「氏名」を明記すること。

卒業研究（中道研究室） Laboratory Work for Graduation (Nakamichi Lab)	担当教員	中道 眞		
	卒業要件	専門必修科目		
	年次・学期	4年次 通年	単位数	10単位

【授業概要】

卒業研究では、これまでにみなさんが主体的に学習をしてきたテーマと内容を研究して、論文という形式にまとめます。具体的には、卒業論文作成のための研究テーマの設定、研究計画の立案、調査の準備と実施など、論文執筆を体系的に指導します。

これまでに、主体的に選んで学んできたテーマが複数あることでしょう。加えて、学外での調査やフィールドワーク、さまざまな体験やイベントなどの社会における交流から学ぶ機会もあったことでしょう。卒業研究では、このような企業や現場の調査・フィールドワーク等の学生の能動的な学修への成果（アクティブラーニング型）も重要です。

卒業研究は、これまでに履修してきたすべての科目と関連しています。特に、経営管理論、経営組織論、マーケティング論、社会調査論、地域活性化フィールドワークⅠ、地域活性化フィールドワークⅡなどの専門知識が必要とされます。なお、入学年度によって履修できない新設科目はその限りではありません。

【キーワード】

グローバル・ニッチ産業、国際中小企業、革新的技術、国際企業家精神、中小企業、地域産業、社会共生、ディーセント・マネジメント、労働統合、障害者雇用、企業と社会、多国籍企業、国際経営、経営管理、イノベーション、グローバル・ガバナンス、国際連合、グローバル・コンパクト

【一般目標】

卒業研究のテーマを設定し、研究テーマに関連する研究の調査をし、研究目的や研究方法を決め、文献研究や現場調査をおこない、得られた成果を考察し、まとめるプロセスを経て、創造的な研究をおこなう能力を身につける。また、研究会などで発表するために、優れた表現法を修得する。

【到達目標】

知識・理解	1. 研究テーマを論理的・多面的に理解し、説明できる。2. 経済・経営に関する基礎から応用までの幅広い知識を習得し、特に応用は事例をあげて説明できる。3. 研究を実施するための情報を収集し、その情報をもつ意味を読みとることができる。
思考・判断	1. 研究に関する知識や情報を統合し、研究を実施するためのツールとして活用ができる。2. 研究テーマの問題点や社会的意義を的確に読みとり、解決案を提案できる。3. 得られた研究成果を考察し、今後の課題を示し、研究の発展性を展望できる。
関心・意欲・態度	1. 研究実施にあたり、人間・社会・地球に与える影響を考え、討議できる。2. 研究計画に沿って、文献研究や現場調査を適切に遂行できる。
技能・表現	1. 研究テーマを適切に表現し、与えられた時間内で明瞭にわかりやすく発表できる。2. 質問内容を把握し、質問者に的確に回答できる。3. 論文を合理的な構成で、簡潔・的確にまとめることができる。
その他	

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当者
1	授業オリエンテーション 研究テーマの理解	シラバスを基に科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。 社会科学が問題としているテーマと人文科学・自然科学との共通点・相違点を理解する。	課題・オンライン等での指導等	予習：シラバスを熟読する。 参考文献の中で、少なくとも1つの文献を読んで、研究ノートに質問を3つ記す。 これまで履修してきた授業で最も興味深かった科目を3つ選ぶ。その3つの科目を復習し、選んだ理由を研究ノートに記す。必ず研究ノートを作成して来てください。(680分) 復習：ノートを見て内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。次回授業での質問を3つ考える。(600分)	中道
2	経営学・経済学研究の基本研究方法の取得（1）	経済・経営分野における基本的な研究方法1（文献研究）についての社会科学研究方法論を学ぶ。	課題・オンライン等での指導等	予習：図書館、書店、インターネットなどで文献を検索して1冊あるいは1論文以上を読んで、質問を3つ以上用意する。(680分) 復習：ノートを見て内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。次回授業での質問を3つ考える。(600分)	中道
3	経営学・経済学研究の基本研究方法の取得（2）	経済・経営分野における基本的な研究方法2（現場調査など事例研究）についての社会科学研究方法論を学ぶ。	課題・オンライン等での指導等	予習：図書館、書店、インターネットなどで現場調査や事例研究の文献を検索して1冊あるいは1論文以上を読んで、質問を3つ以上用意する。(680分) 復習：ノートを見て内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。次回授業での質問を3つ考える。(600分)	中道
4	卒業論文のテーマ設定	研究テーマの例示と解説をおこない、卒業論文テーマ候補案を設定する。 次いで、卒業論文テーマ候補案に関する既存論文・文献を調査し、卒業論文テーマを決定する。	課題・オンライン等での指導等	予習：研究室で実施されている研究について調べる。さらに、国立情報学研究所の論文検索サイトCINII (https://ci.nii.ac.jp/) で論文を検索して、卒業論文のテーマ設定の準備する。(1360分) 復習：授業内容(1200分)	中道
5	研究計画の立案	卒業論文テーマの目標を明確にし、目標に向けた研究計画（文献調査、現場調査）をたてる。	課題・オンライン等での指導等	予習：卒業論文テーマに関する文献等を詳細に調べる。(680分) 復習：研究ノートの研究計画を確認して、計画を仕上げる。(600分)	中道
6	予備調査の実施	本調査へのステップを担う研究計画に沿った予備調査をおこなう。	課題・オンライン等での指導等	予習：文献調査では熟読、現場調査では現場へのアポイントメントなど、予備調査に必要な準備をする。(680分) 復習：研究ノートの確認と調査結果の執筆。(600分)	中道
7	予備調査の分析・考察と結果の検討	予備調査によって得られた情報を分析・考察し、その結果を検討し、本調査の研究計画を再検討する。	課題・オンライン等での指導等	予習：得られた調査結果を分析・考察できるように、研究ノートと資料の準備しておく。(680分) 復習：研究ノートの確認と分析・考察の執筆。本調査の計画を修正。(600分)	中道
8	本調査の実施	卒業研究テーマの目標を達成するため、再検討した研究計画に沿って、本調査をおこなう。	課題・オンライン等での指導等	予習：再検討した本調査が問題なく実施できるように準備をする。(680分) 復習：研究ノートの確認と本調査結果の執筆。(600分)	中道
9	本調査の分析	本調査より得られたデータを分析し、卒業論文の目次構成、図表の作成、題目（主題と副題）を検討する。	課題・オンライン等での指導等	予習：文献調査や現場調査の結果を分析して記述する。図表で表現できる内容は、図表を作成する。(680分) 復習：研究ノートの確認と記述内容の修正。(600分)	中道
10	本調査の考察	得られた調査結果を把握し、考察をおこなう。さらに今後の課題と展開を検討する。	課題・オンライン等での指導等	予習：得られた結果を整理して、関連する文献を準備する。(680分) 復習：研究ノートの考察部分の確認と加筆修正。(600分)	中道
11	卒業論文執筆（1）	卒業論文の目的、イントロダクション、材料と方法の執筆方法を学ぶ。	課題・オンライン等での指導等	予習：研究ノート、論文等、執筆に必要なものを蒐集して、整理整頓する。(680分) 復習：卒業論文の各章、冒頭部分（イントロダクション等）、最後の部分を確認し、題目を再検討する。また、注釈、参考文献も確認する。(600分)	中道
12	卒業論文執筆（2）	卒業論文の調査結果、考察、注釈、参考文献の執筆方法を学ぶ。	講義・演習	予習：研究ノート、論文等、執筆に必要なものを蒐集して、整理整頓する。(680分) 復習：卒業論文全体を再確認する。(600分)	中道
13	卒業論文発表準備	卒業論文発表にむけた発表資料の作成と発表の練習をおこなう。	演習・発表	予習：発表資料の作成方法を選択し、準備する。(680分) 復習：発表資料を修正する。(600分)	中道
14	卒業論文発表	卒業論文発表会において、決められた時間内で聴衆に研究内容と成果を論理的に、分かりやすく伝える。質疑に対して、適切な応答を時間内におこなう。	発表・討論	予習：発表練習でもらった意見やコメントを反映させて修正した発表資料を使用して、発表練習を実施する。(680分) 復習：質問内容やコメント、回答を振り返り、理解する。(600分)	中道

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	グローバル市場を志向する国際中小企業～革新的技術と国際企業家精神に優れた中小企業の研究～	中道 眞	晃洋書房
参考書	社会共生学研究	重本直利他編	晃洋書房
参考書	日新電機－京都産業学研究シリーズ・ブックレット 企業研究第四巻－	京都産業学研究シリーズ企業研究第四巻編集委員会	晃洋書房
参考書	ディーセント・マネジメント研究－労働統合・共生経営の方法－	重本直利編	晃洋書房
参考書	サスティナビリティと中小企業	足立辰雄編	同友館
参考書	社会経営学研究－経済競争的経営から社会共生的経営へ－	重本直利編	晃洋書房
参考書	「社会と企業」の経営学－新自由主義的経営から社会共生的経営へ－	國島弘行他編	ミネルヴァ書房
参考書	CSR経営の理論と実際	足立辰雄・井上千一編	中央経済社
参考書	関係性と経営－経営概念の拡張と豊富化－	社会経営学研究会編	晃洋書房

【成績評価方法・基準】

到達目標	評価方法	研究プロセス	卒業論文	口頭発表	その他	合計
	知識・理解	◎	○			
	思考・判断	○	◎			
	関心・意欲・態度	○	○	◎		
	技能・表現		○	○		
	その他					
	評価割合	50%	35%	15%	0%	100%
	備考					

【課題に対するフィードバック方法】

毎回の授業前後や授業中に皆さんの**研究ノート**をチェックしてコメントをします。

予備的研究のレポートなど提出課題も同様にチェックしてコメントをします。

なおコメント等のフィードバックは、配布された時間割に明記されている授業時間あるいはその他に設定した時間に、Microsoft teams上での当科目のチーム内でのチャット等を利用して受付実施に変更する可能性があります。もしMicrosoft teams上での当科目のチーム内でのチャット等ができない学生がいる場合はメール等での実施に替えることもあるので、ポータルサイト等の告知等を十分に注意しておいてください。

【連絡先】

	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
中道 眞	水曜日・木曜日（授業時間等を除く）	NE205	nakamichi@nupals.ac.jp

【その他】

授業開始前までに、自分の関心のある研究テーマを箇条書きにしてください。箇条書きにした研究テーマから3つを選んでください。その3つの内容を図書館やインターネットで調査してください。以上のことを記した**研究ノート**を必ず作って来てください。

卒業研究は講義科目とは異なり、自分（ゼミ生）が主体となって取り組む科目です。学外での調査（地域社会の企業や諸組織における・現場学習・問題解決のための学外活動を含む）も積極的に実施してください。そして大学生生活を締めくくる大きな成果として、卒業論文を完成させましょう。

皆さんと一緒に、研究ができることを楽しみにしています。

なお、本授業ではテキストを学ぶことを中心としますが、オンライン講義等も可能になれば実施を計画しています。その際はポータルサイト等で告知しますので十分に注意してください。

質疑応答は、配布された時間割に明記されている授業時間、あるいはその他に設定した時間に、Microsoft teams上での当科目のチーム内でのチャット等を利用して受付実施を予定しています。Microsoft teams上での当科目のチーム内でのチャット等ができない学生がいる場合はメール等での実施に替えることもあるので、ポータルサイト等の告知等を十分に注意しておいてください。

卒業研究（杉田研究室） Laboratory Work for Graduation (Koichi Sugita Lab)	担当教員	杉田 耕一		
	卒業要件	専門必修科目		
	年次・学期	4年次 通年	単位数	10単位

【授業概要】

農業ビジネスに関連する卒業研究テーマの設定から卒業論文完成に至るプロセスを重視した指導を行う。具体的には、論文企画、調査、論理的なまとめ方など、教員や研究室メンバーとの活発な議論を通じた指導を行う。また、卒業研究を通して社会人として基本的なスキルであるスケジュール管理や調整能力を身につけるように指導する。また、「卒業研究（杉田研究室）」では、1年次開講科目「農業ビジネス論Ⅰ」、2年次開講科目「ブランド構築論」、「農業ビジネス論Ⅱ」、「農業経済学」、「食品経済学Ⅱ」、3年次開講科目「生命産業デザイン論」などの専門知識が必要とされる。

【実務経験】

担当教員は、大手上場企業の研究開発部門と新事業企画部門に27年間勤務し、主に農業資材や機能性作物の開発と商品化を担当し、公的研究機関や自治体とのプロジェクト経験を持つ。その経験を活かして、知識修得や机上の論理だけでなく、農業ビジネス現場での実学を重視した卒業研究を指導する。

【キーワード】

農業、ビジネス、企画、経営、事業創出、食品・食糧、地域、農業政策、農業貿易、農林水産省、行政、農業金融、ブランド、ブランドデザイン、論文企画、情報収集、論文検索、論文執筆、スケジュール管理、プレゼン手法

【一般目標】

対象とする農業ビジネスの内的・外的環境を分析することができ、課題と解決策を広い視野で見出すセンスを身につける。ビジネス現場とのコミュニケーションによる実学と知識を融合した実践的な農業ビジネスを企画する能力を身につける。

【到達目標】

知識・理解	1. 先行文献や公的機関報告書を集集し、内容を理解することができる。 2. 研究推進に当たっては、農業ビジネス現場からの情報収集を積極的に行うことができる。
思考・判断	1. 収集した情報の要点を把握し、研究に活かすことができる。 2. 研究計画の達成に向けて論理的に研究項目を設定し研究を推進することができる。 3. 研究実施過程で順調な点、課題点を把握し、それらを教員へ説明し解決していくことができる。
関心・意欲・態度	1. 農業ビジネスおよび研究室全体の研究活動について関心を持ち、自身の研究に役立てることができる。 2. 適切な研究進捗管理を行い、着実に研究を進めることができる。 3. 教員および研究室メンバーと積極的にディスカッションを行い、自身の研究および研究室としての研究活動に積極的に取り組むことができる。
技能・表現	1. 先行論文や報告書を集集し、統計データ等を理解し研究へ応用することができる。 2. 調査結果等を図グラフ等を使ってわかりやすく表現することができる。 3. 研究結果を論理的に文章にまとめ論文にすることができる。 4. パワーポイントを使ったわかりやすいプレゼンテーションをすることができる。
その他	1. 他産業のビジネス戦略や最新動向に関心を持ち、農業ビジネス分野への活用を考えることができる。 2. 農業ビジネス分野の根幹である農産物栽培、および販売動向について常に関心を持つことができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当者
1	卒業研究オリエンテーション	シラバスを基に、卒業研究概要、一般目標、到達目標を理解する。自身の活動成果を他者に説明することの重要性、活動により生まれる人間関係など卒業研究に取り組む意義を学ぶ。各自の研究テーマ案についてディスカッションすることで、研究テーマ選定の参考にする。	講義・SGD	予習：シラバスの熟読。テーマ候補を複数考える。（960分） 復習：講義内容、研究テーマの熟考と絞り込み作業。（960分）	杉田
2	先行調査と研究テーマ選定	講義または報道等で興味を持った複数テーマについて、インターネットや先行文献を調査する。可能な範囲で実際の現場でも調査を行ったうえで、最終的に研究テーマを選定する。	演習	予習：研究テーマの選定。研究調査の実施。（960分） 復習：研究調査。（960分）	杉田
3	研究計画の策定	研究目的、内容、方法、スケジュールなど計画書を作成する。	演習	予習：研究計画（案）の作成（960分） 復習：進捗報告会の発表準備（960分）	杉田
4	研究進捗報告会（1）	先行調査結果と選定理由、研究計画について発表する。研究室メンバーからの質問や意見を参考にする。	発表・討論	予習：発表資料の作成（960分） 復習：発表結果の振り返り。（960分）	杉田
5	研究調査の実施	研究調査を実施する。	演習・実習	予習：研究調査の実施。（960分） 復習：研究調査の実施。（960分）	杉田
6	研究調査結果の中間整理と評価	研究調査の途中経過をまとめ、今後の調査実施予定を確認する。	演習・実習	予習：研究調査の結果を振り返り整理する。（960分） 復習：進捗報告会の発表準備。（960分）	杉田
7	研究進捗報告会（2）	研究中間報告、および今後の計画について発表する。研究室メンバーからの質問や意見を参考にする。	発表・討論	予習：発表資料の作成。（960分） 復習：発表結果の振り返り。（960分）	杉田
8	研究調査の実施	中間報告会の結果を踏まえながら、完成目指して研究調査を実施する。	演習・実習	予習：研究調査の実施。（960分） 復習：研究調査の実施。（960分）	杉田
9	研究調査結果のまとめ	図表グラフ化するなど、研究調査結果を整理する。	演習	予習：研究調査の結果を振り返り整理する。（960分） 復習：論文および発表構成を考える。（960分）	杉田
10	卒業論文執筆（1）	論文（案）を作成して、教員とのディスカッションを行い、追記事項や修正事項を確認する。	演習	予習：論文作成。（960分） 復習：論文作成。（960分）	杉田
11	卒業論文執筆（2）	追記修正等を行い論文を完成させる。	演習	予習：論文作成。（960分） 復習：論文作成。（960分）	杉田
12	卒業論文発表 パワーポイント資料作成	研究結果を分かり易く伝えるため、図表グラフや映像写真など駆使したパワーポイント資料を作成する。	演習・実技・実習	予習：パワーポイント資料作成。（960分） 復習：パワーポイント資料作成。（960分）	杉田
13	卒業論文発表 予行練習	卒業研究発表会に向けて発表練習を行う。	演習・発表	予習：発表練習。（960分） 復習：予行練習の振り返りと修正（960分）	杉田
14	卒業論文発表会	卒業論文の内容について発表する。	発表	予習：発表資料の完成と発表練習。（960分） 復習：質疑内容を理解し、必要に応じて追加調査や修正を行う。（960分）	杉田

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
その他	テーマ、研究進捗に合わせて適宜配布。		

【成績評価方法・基準】

到達目標	評価方法	研究プロセス	卒業論文	口頭発表	その他	合計
知識・理解		○	○			
思考・判断		◎	◎			
関心・意欲・態度		○	○	◎		
技能・表現		○	○	○		
その他		○				
評価割合		50%	35%	15%	0%	100%
備考	スケジュール管理能力					

【課題に対するフィードバック方法】

定期的を実施する研究室発表会、および個別打ち合わせ等により随時適切な指導をする。

【連絡先】

	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
杉田 耕一	月～金10:00～17:00（講義等の時間除く）	NE209	agri-sugita@nupals.ac.jp

【その他】

研究調査については可能な限り実際のビジネス現場からの情報収集が大切だと考えていますので、研究目的にあった企業や公的機関などへ同行するなど研究調査の支援をします。また、本研究室では、農業ビジネス現場の情報収集や企業等との交流を積極的に図るため、展示会や学会への参加を行っています。なお、新型コロナウイルス対応のため、可能な範囲での研究となる可能性があります。

卒業研究（内田研究室） Laboratory Work for Graduation (Uchida Lab)	担当教員	内田 誠吾		
	卒業要件	専門必修科目		
	年次・学期	4年次 通年	単位数	10単位

【授業概要】

論文作成のための研究テーマの設定、研究計画の立案、文献調査、現場調査、事例研究、経済学的分析の方法、研究結果の解析、論文執筆を具体的かつ体系的に指導する。「食品経済学I」、「食品経済学II」、「食品商品学」、「食品流通学」などで学んだことを基礎として、農産物・食品などの市場とその流通機構を経済学的に分析する。また、これらの経済学的分析を通じ、その他の市場や流通機構についても、独力で分析できる力が身につくように指導する。

【キーワード】

経済学、産業組織論、企業経済学、企業行動、産業構造、文献調査、現場調査、事例研究、経済学的分析、文章作成、論文執筆

【一般目標】

論文作成を通して、文献調査、経済学的な分析、現場調査などを経て、結論を導き出すプロセスを学ぶ。また、論文執筆や研究発表を通して、論文、報告書、レポートやプレゼンテーションにおける表現方法を身につける。

【到達目標】

知識・理解	研究テーマの分野について十分な理解ができている。
思考・判断	最大限の成果を模索しつつ、実現可能な研究テーマを設定できる。
関心・意欲・態度	1. 主体的に研究テーマを探索する。 2. 教員、インタビュイー、学生との適切なコミュニケーションを通じ、研究を正しい方向に導く努力を継続できる。
技能・表現	簡潔でわかりやすい文章表現、発表ができる。
その他	

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当者
1	授業オリエンテーション	社会科学の論文が扱うテーマについて事例を学ぶ。また、卒業論文のテーマ設定について理解する。	講義・演習	予習：研究したいテーマの論文、レポート、資料を調査する（60分） 復習：授業を参考にして、研究したいテーマ設定を再考し、論文、レポート、資料を調査する（60分）	内田
2	経済学の分析手法について①	経済学分野における基本的な分析手法について、事例を通じて理解する。	講義・演習	予習：配布資料・指定図書の熟読（60分） 復習：配布資料・指定図書の熟読（60分）	内田
3	経済学研究の分析手法について②	経済学分野における基本的な分析手法について、事例を通じて理解する。	講義・演習	予習：配布資料・指定図書の熟読（60分） 復習：配布資料・指定図書の熟読（60分）	内田
4	研究課題のテーマ設定と研究計画	研究テーマの一次設定と研究計画の検討。	講義・演習	予習：研究テーマの設定と研究手法について考察する（90分） 復習：授業内容を参考にして、研究テーマと研究手法について再検討する（60分）	内田
5	先行研究の調査	具体的な文献調査の方法について学ぶ。	講義・演習	予習：研究テーマに応じた文献調査を行う（90分） 復習：授業内容を参考にして、文献調査の再検討を行う。また、文献を読み進める（90分）	内田
6	現地調査・事例研究	具体的な現地調査・事例研究について学ぶ。	講義・演習	予習：研究テーマに応じて、具体的な現地調査、事例研究の方法を検討する（90分） 復習：授業内容を参考にして、現地調査、事例研究の再検討を行う。また、現地調査、事例研究を行う（90分）	内田
7	データ・資料の収集	具体的なデータ・資料の収集方法について学ぶ。	講義・演習	予習：研究テーマを参考にして、具体的なデータ・資料を収集する（90分） 復習：授業内容を参考にして、データ・資料の収集の再検討を行う（60分）	内田
8	分析①	経済学的な手法を用いた分析を行う。	講義・演習	予習：これまでの準備を生かし、分析を行う（90分） 復習：授業内容を参考にして、分析の再検討を行う（60分）	内田
9	分析②	前回分析の修正点および改善点について検討する。	講義・演習	予習：前回分析の修正および改善を行う（90分） 復習：授業内容を参考にして、分析の再検討を行う（60分）	内田
10	分析結果の考察	研究の分析結果について検討する。	講義・演習	予習：分析結果の検討を行う（90分） 復習：授業内容を参考にして、再検討を行う（60分）	内田
11	卒業論文執筆①	論文執筆における注意事項について学ぶ。	講義・演習	予習：参考書を熟読する（90分） 復習：論文作成（90分）	内田
12	卒業論文執筆②	執筆中の論文を用いながら、具体的な修正方法について学ぶ。	講義・演習	予習：論文作成（90分） 復習：論文作成（90分）	内田
13	卒業論文発表準備	プレゼン資料の作成、プレゼンの方法について学ぶ。また、発表に対する質問、コメントの発言方法についても学ぶ。	講義・演習	予習：論文をもとに、プレゼン資料を作成する。参考書を熟読する（90分） 復習：授業を受け、プレゼン資料の修正、プレゼンの練習を行う（90分）	内田
14	卒業論文発表	卒業論文の発表を行う。	発表・討論	予習：プレゼン資料の最終確認、プレゼンの練習を行う（90分） 復習：発表に対する質問、コメントを生かして、どのように論文、発表を改善できるか考える（60分）	内田

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	必要に応じて文献を紹介する。また、資料を配布する。		
教科書	日本語の作文技術	本多勝一	朝日文庫

【成績評価方法・基準】

到達目標	評価方法	研究プロセス	卒業論文	口頭発表	その他	合計
	知識・理解	◎	◎			
	思考・判断	◎	◎			
	関心・意欲・態度					
	技能・表現			◎		
	その他					
	評価割合	50%	35%	15%	0%	100%
	備考					

【課題に対するフィードバック方法】

論文のテーマや内容について個別にコメントする。
論文執筆の指導を個別に行う。

【連絡先】

	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
内田 誠吾	月曜～金曜日午前中	NE203	seigo.uchida@nupals.ac.jp